

男子ソフトテニス部 R5 新人体育大会結果報告

★団体戦 西三河第6位 県大会出場！

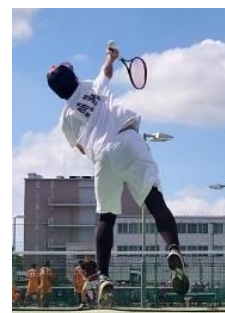
★個人戦 1ペア県大会出場！（本田・安藤組）



9月9日(土)・10日(日)に新人戦西三河予選の団体戦が実施されました。

強豪校揃いの西三河は今年度30チーム出場し、そのうち9チームが県大会に進めます。全三河予選の経験を活かし、負けたくないという気持ちではなく、まずはプレーを楽しみたい、そして勝ちたいという前向きな気持ちでプレーをしよう、と伝えてスタートをしました。

初戦の豊田高専は、高浪・太田、間瀬・安藤ともにゲーム3-0とリードしますが、そこで勝ち急いでしまい1ゲーム落とします。ここを平常心でプレーしようという課題を再確認できました。本田・杉浦はストレートで勝利し、まずは1勝。続く岡崎商業は全三河予選で敗けた相手でした。あれから1か月の成長を見せるチャンスだと話し、選手たちもリベンジする気で捉えていたので、安心して見ることができました。本多・山田が相手の大将にファイナルで勝利すると、高浪・太田はストレートで勝ち、本田・杉浦は前回苦戦を強いられた相手を粘りのテニスで抑え込み4-2で勝利。夏の期間の成長を感じられた対戦でした。そして、1次リーグ最終戦の猿投農林も油断せずにストレートで抑え、1次リーグ1位通過の目標を達成します。



そして、2次リーグ初戦は豊田南高校。総体で3年生が敗れた相手なので苦戦をすることも覚悟していましたが、落ち着いたプレーで相手の流れになりそうな場面をよく耐え、終わってみれば全勝で勝利し、西三河ベスト8、県大会出場が決まります。そして、愛知県の覇者、岡崎城西との対戦に臨みました。以前であれば相手を意識しすぎて力み過ぎることも考えられましたが、その日は比較的良い精神状態だったと思います。本田・安藤は1ゲーム目からデュースを何本も繰り広げ、ゲームは取れなかったものの、ポイントは十分取れるという手応えを感じました。また、高浪・杉浦は得意のサーブゲームを有利に進め、1-3から挽回してなんとファイナルに持ち込みます。最後は地力の差が出て惜敗しますが、勝つ可能性を感じました。最後の本多・山田も、国体候補選手相手にゲーム展開としては引けをとらない形を作れました。多くのプレーであと少し、でも確実な一歩が足りない、そんな印象でした。そして、2次リーグ2位通過という形で2日目へ。

3次リーグ初戦は第3シードの豊田西高校。相手の絶対的な大将に高浪・太田が完全に抑えこまれ、間瀬・安藤もゲーム1-2とリードされます。その間に本田・杉浦がリードしますが、間瀬・安藤はデュースが取り切れず敗けてしまいます。2戦目は第2シードの愛産大三河高校。夏の全三河でBチームに勝ったものの、Aチームにはどこまで通用するかと置いていたところ、なんと1本目の本多・山田が終始リードする試合展開で勝利します。その勢いに乗っていきたいところでしたが、本田・杉浦は全ゲームオールにいけますが、そこからのあと2本が取れず惜敗。高浪・太田も第1ゲームをデュースで落とすと、そのまま流れを失い、敗けてしまいました。





そしてリーグ最終戦は岡崎工科高校。相手の大将に本多・安藤が食らいつきますが、2-4で惜敗。しかし、それにより勢いをつかんだ残り2ペアは、順調にゲームを展開してともに勝利します。最後の5位決定戦は、全三河予選の最終戦でも戦った安城東高校。今度こそ勝ちたいと思って臨みましたが、相手の大将に本田・安藤が1-4で抑えられると流れが大きく相手に傾き、高浪・杉浦はゲーム1-3とリードされます。しかし、そこから1ゲームをストレートで取って流れをつかみたいそのタイミングで大雨により試合は中断。そのまま降り続く雨により、続きは次週に持ち越しになりました。その持ち越された続きのゲームを取られてしまい、結局安城東にはリベンジならず。ですが、確実に全三河予選から順位を上げ、本当によく頑張ったと思います。県大会に向けてさらにレベルアップしていきます！

- <1次リーグ> 1位通過
本校 ③-0 豊田高専 本校 ③-0 岡崎商業 本校 ③-0 猿投農林
- <2次リーグ> 2位通過
本校 ③-0 豊田南 本校 0-③ 岡崎城西
- <3次リーグ> リーグ3位
本校 1-② 豊田西 (0-④、1-④、④-1)
本校 1-② 愛産大三河 (④-2、1-④、0-④)
本校 ②-1 岡崎工科 (2-④、④-1、④-1)
- <5位決定戦>
本校 0-② 安城東 (2-④、1-④、1-1)



西三河第6位 県大会出場！

9月16日(土)・17日(日)に新人戦西三河予選の個人戦が実施されました。

西三河予選は今年度291ペア出場し、そのうち34ペアが県大会に進めます。ベスト32に入れば県大会確定、そこで敗けても残り2本の枠をかけた敗者復活戦があるということで、チャンスの大きな予選でした。そんな中、本田・安藤は順調に4回戦を勝ち上がり県大会出場を決めます。そして、高浪・杉浦、本多・山田、戸田・池田は4回戦の32決めに臨みますが、惜しくも敗けてしまい敗者復活戦に回ってしまいました。特に高浪・杉浦はファイナルただけに非常に悔しい結果となりました。その後の敗復1回戦目で戸田・池田は敗けてしまい、3ペアが2日目に残りました。

2日目は本田・安藤が5回戦も勝ち上がり、最後は第1シードに敗けてしまいましたが、**西三河ベスト16で県大会出場**となりました。高浪・杉浦、本多・山田は敗復2回戦目も勝ちますが、続く3回戦で惜しくも敗けてしまいました。一度でも敗けてしまったら終わりという、団体戦とは違ったプレッシャーのかかる個人戦の怖さを、改めて痛感した新人戦となりました。ですが、個人戦で県大会を目指せるのは、2年生にとって残る大会は引退試合となる総体のみ。そこで悔しい思いをすることがないように、残りの半年でどんな相手に対しても自分たちのプレーで臨めるようなメンタルを身につけていきたいと思います。



10月21日(土)・28日(土)に新人体育大会の県大会が実施されました。

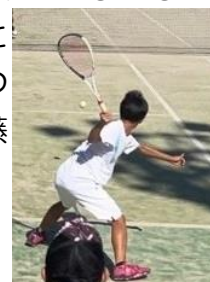
21日の個人戦は、修学旅行から帰ってきた翌日ということで体調面も含めて心配していましたが、無事に試合に臨むことができました。相手は一宮高校で、第1ゲームを取りますが、相手の前衛に上手にシュートボールを抑えられ、1-3とリードをされます。そこからストレートで第5ゲームを取りますが、第6ゲームは3-1リードから追いつかれ、そのデュースを取れず敗けてしまいました。練習不足もありましたが、やはり県大会では二人で1本取るプレーの大切さを痛感しました。この経験をチームに持ち帰ってくれるといいです。

28日の団体戦の相手は常滑高校でした。愛知県およそ100チームくらいあるなかで、この県大会の舞台に立てるのは32チームのみ。まずは、その舞台を楽しむ気持ちで戦おうと話をしてスタートしました。それでも県大会の舞台は緊張をするもので、1本目の高浪・太田は太田がガチガチに緊張して2ゲーム



ム落としてスタートします。しかしそこから立て直して3ゲーム連取しますが、6ゲーム目の5回続いたデュースを落としてファイナルに持ち込まれます。そして、ファイナルもなんとデュースが8本続き、結果敗けてしまいました。

続く2本目の本田・杉浦も相手の勢いで第1ゲームを落としますが、2ゲーム目をストレートで取るとそのまま流れをつかんで4ゲーム連取して勝利。そして、3番勝負を本多・安藤に託します。本多・安藤はお互いにサーブゲームを取り切り、



3-2リードのレシーブゲームをなんとか取りにいきますが、続くデュースの末取られてファイナルへ。そして、ファイナルは途中でリードされた2ポイントを埋められず、最後は相手のネットインで終わりました。



内容としては3-0勝利の可能性もあっただけに、悔しい負け方をしました。次の対戦では、第4シードの享栄高校に常滑高校が1本目を取り、3番勝負をしている姿があり、その経験をここで活かすということも悔しさを大きくしました。しかし、ここで敗けた悔しい経験をきちんと振り返ってこれからの練習につなげ、最終的に半年後の総体に生かすことができれば、ここで感じた悔しさに価値が生まれます。これからの頑張りに期待したいと思います。今後も応援よろしくお願いします。